

令和4年度入学者一般選抜入学試験問題

(B日程 人間生活学部 子ども学科)

小論文

注意事項

- 1 試験時間は、午前10時から午前11時までである。
- 2 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 3 この試験では、問題冊子（2ページ）、解答用紙1枚及び下書き用紙1枚を配付する。
- 4 試験開始の合図があつてから、解答用紙に**受験番号を必ず記入すること（氏名の記入は不要）**。
- 5 解答は、解答用紙の所定の欄に**横書き**で記入すること。所定の解答欄以外に記入した解答は無効である。
- 6 問題冊子及び解答用紙にページの欠落や印刷不鮮明な部分等がある場合は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
- 7 原則として、試験時間中の途中退室は認めない。
ただし、具合が悪くなった場合、トイレに行きたくなった場合等は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
- 8 試験終了の合図があつたら直ちに筆記用具を置くこと。
- 9 試験終了の合図があつて筆記用具を置いたら、机の上に問題冊子と下書き用紙を重ねて置き、その上に表にした解答用紙を重ねて置くこと。
- 10 試験監督者の許可があるまで退室しないこと。

次の2つの新聞記事を読み、イギリスの状況を踏まえつつ、日本における孤独や孤立の課題について、具体例を挙げて説明するとともに、解決に向けてあなたができることを、600字以上800字以内で述べなさい。

朝日新聞社に無断で転載することを禁じる（承諾番号22-1354）

「孤独担当相 英が新設」（2018年1月19日 朝日新聞 朝刊）

英国のメイ政権は17日、「孤独担当相」を新設した。英国では人のつながりの減少により約7人に1人が孤独を感じているとされ、健康への悪影響も指摘されるなど深刻な問題になっている。政府は民間の協力を得ながら、地域の人々を結びつける活動に資金を提供することも検討する。

英国では、労働組合やパブ、教会などが伝統的に人々を結び付ける役割を果たしてきたが、数の減少や社会の変化により存在感は弱まっている。英赤十字社によると、人口6560万人の英国には、「常に」または「しばしば」孤独を感じる人が900万人以上。孤独は退職や離婚など人生の節目や転機に始まりやすく、適切なタイミングで適切な支援が受けられない場合に恒常化しやすいという。

英国家庭医学会によると、孤独な人は社会的なつながりがある人に比べて天寿を全うせず亡くなる可能性が50%も高い。下院議員らが昨年まとめた報告書は、孤独は、肥満や1日15本の喫煙以上に健康に悪影響があると指摘している。

政府は研究や統計を踏まえ、孤独をなくす政策を練る。民間の協力も得ながら超党派で対策を進める。孤独担当相は文化省でスポーツなどを担当するトレイシー・クラウチ政務次官（42）が兼務する。

メイ首相は「あまりに多くの人たちにとって、孤独は現代における悲しい現実だ。お年寄り、介護者、愛する人を失った人、考えや経験を分かち合う相手がいない人たちが抱える孤独に対処するため行動したい」と話した。

孤独への対策は、欧州連合（EU）離脱をめぐる2016年の国民投票直前に殺害されたジョー・コックス下院議員が熱心に取り組んでいた。（ロンドン＝下司佳代子）

朝日新聞社に無断で転載することを禁じる（承諾番号22-1354）

「『孤独・孤立』担当相 海外が注目」（2021年4月29日 朝日新聞 朝刊）

「孤独・孤立」問題を担当する坂本哲志・地方創生相に海外の報道機関から取材が相次いでいる。背景には、コロナ禍の世界で深刻化する孤独や孤立問題への取り組みを、日本に見習おうとする姿勢があるようだ。

坂本氏は27日の閣議後会見で、先週、韓国のテレビ局から孤独問題について取材を受けたことを明らかにした。今年3月以降、ロシアやスペインの報道機関からも取材があり、27日も米国のメディアから取材を受けた。

新型コロナウイルスの影響で深刻化する孤独・孤立問題に取り組むため、菅義偉首相は2月、坂本氏に担当させた。内閣官房には「孤独・孤立対策担当室」を新設。同室によると、孤独・孤立問題を専門的に担う閣僚は、英国が2018年に世界で初めて任命。坂本氏は2例目になるという。

各国が注目する理由を、坂本氏は「世界各国で程度の差はあるが、それぞれの国が悩んでいる。

暗中模索の中で日本がどういう手を打っているのだろうか、という気持ちが表れている」とみる。

日本で相次ぐ「孤独死」の報道が世界に広まっていることで、関心が集まっているとの見方もある。孤独・孤立問題を研究する岡本純子氏（53）は「孤独死が『コドクシ』と英語になるほど問題が深刻な日本で、どんな方策が出るのかに注目が集まっている」と語る。

政府は問題の実態調査を行い、来年3月末までに結果を公表する方針だ。（笹山大志）